

報告書抄録

ふりがな	きょうとふいせきちようさほうこくしゅう		
書名	京都府遺跡調査報告集		
副書名			
巻次	第164冊		
シリーズ名	京都府遺跡調査報告集		
シリーズ番号	第164冊		
編著者名	伊野近富・竹原一彦・綾部侑真・竹村亮仁・岩松保		
編集機関	(公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター		
所在地	〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-3 Tel.075(933)3877		
発行年月日	西暦2016年3月31日		

ふりがな	ふりがな	コード		北緯		東経		調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	°	'	°	'		m <sup>2</sup>	
おおかわいせきだいさんからごじちようさ 大川遺跡第3～5次調査	きょうとふまいづるしおおかわ・はとち・はった 京都府舞鶴市大川・八戸地・八田	26202	103	35°	26'	135°	15'	20121030 ～ 20150202	10,460	堤防建設

備考：北緯・東経の値は世界測地系に基づく。

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
大川遺跡第3～5次調査	集落跡 集落跡	弥生 古墳	竪穴建物・方形周溝墓 竪穴建物・土坑	弥生土器 土師器・須恵器・勾玉・白玉	
	集落跡 集落跡	奈良 平安～鎌倉	掘立柱建物・土坑 掘立柱建物・井戸・鍛冶炉	土師器・須恵器 土師器・須恵器・中国製陶磁器	
	集落跡	室町	掘立柱建物	土師器・須恵器・中国製陶磁器	

所収遺跡名	要約
大川遺跡第3～5次調査	今回の調査では、弥生時代～奈良時代、平安時代後期～鎌倉時代前期、室町時代の遺構・遺物を検出した。弥生時代中期は、方形周溝墓が2基検出しただけで、竪穴建物は検出されなかった。弥生時代後期は、円形の竪穴建物を検出した。古墳時代前期～後期は、平面方形を主とする竪穴建物を検出した。また、白玉が多数出土しており、集落内での祭祀に用いられたものと推測される。集落のはずれでは、土師器甕、須恵器特殊扁壺や須恵器提瓶が出土した。飛鳥時代～奈良時代では、掘立柱建物5棟、柵列を検出したが、計画的な配置や企画性は認められない。平安時代後期～鎌倉時代前期では、調査地の全域で、掘立柱建物、井戸を検出した。集落が大きく拡大した時期である。特に集落のはずれでは、鍛冶炉が検出された。室町時代、石壇状の集石遺構・柵列を検出した。掘立柱建物を数棟検出したものの、まともにはなく集落域から外れるとみられる。